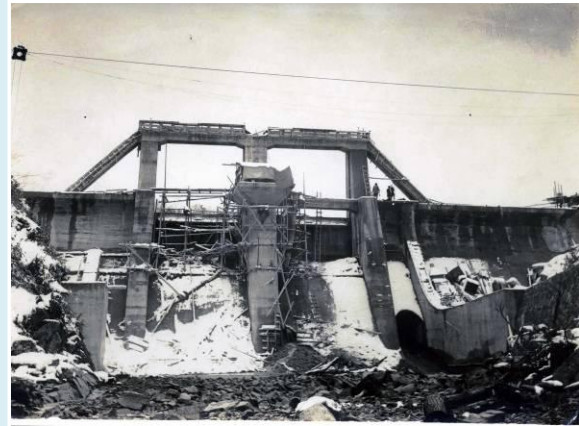


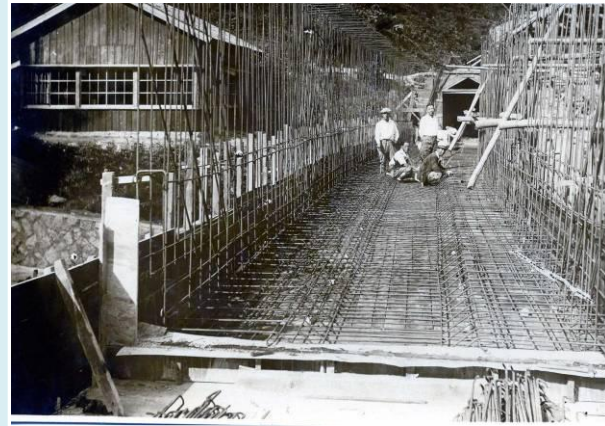
大宮ダムの建設当時の写真を発見

中国電力大宮ダムの建設当時の写真を発見した。秋原の遠藤 侃氏が役場企画課に提供されていたものである。

昭和15年建設当時の様子がよくわかる。



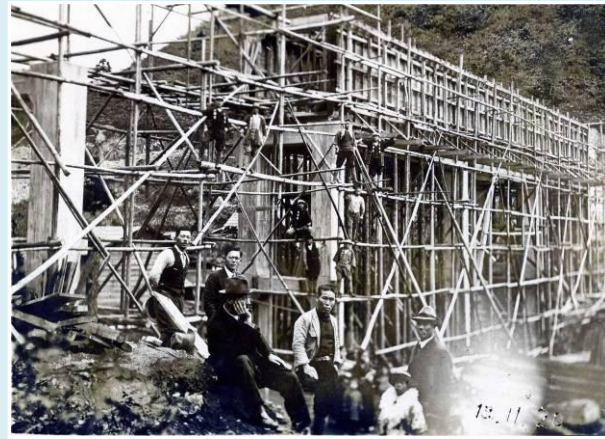
ダムサイト



水路橋 (大宮ダム)



水路トンネル工事



水路橋 (中原)

《お問合せ》

大宮地域振興センター

〒689-5531
鳥取県日野郡日南町印賀 1516
TEL・FAX (0859)87-0911

Mail: skn0400@town.nichinan.tottori.jp
satoyamaomiya@sea.chukai.ne.jp
blog: <http://blog.zige.jp/satoyamaomiya/>
“じげプロ”よりお入りください

編集・発行: 大宮まちづくり協議会 総務部



【編集デスク】

◆今月号も、1月遅れとなりましたことをお詫び申し上げます。◆さて、この1年間「ふるさとだより おおみや」をご愛読いただきまして、誠にありがとうございました。読みやすく、みなさま方に興味を持ってもらう記事をと考えておりますが？◆令和元年は、みなさまにとりまして、どんな年でしたでしょうか？ 1年を振り返り、来たる令和2年、ねずみ年を明るい1年になりますようお祈り申し上げます。よいお年をお迎ください。(青)

No.75

ふるさとだより
おおみや



これは、中国電力の大宮ダムである。発電用の重力式コンクリートダムで、堤高16・8m、堤長68・5m、堤体積8、000m³、総貯水容量495千m³である。竣工は昭和15年(1940年)、施工者奥村組、ダム事業者は中国電力株式会社となっているが、当時中国電力はまだ存在していない。

「大正6年山陰電気が印賀村下鉦付近に堰堤を設けて鵜の池へ水を引き、黒坂村根妻に発電所を作る計画があった。印賀村菅沢村組合は水利使用の承諾を決議していた。」

山陰電気は明治30年に設立され、同40年米子町に初めて電灯をともした会社である。しかし、大正15年に広島電気株式会社に吸収合併されているので、大宮堰堤の計画は広島電気が引き継いでいる。

先進地視察研修の報告 その1

11月13日、島根県飯南町志々地区と雲南市波多地区を総勢19人で視察研修に出かけました。この2つの地区のセールスポイントとなる3つのことを見せてもらったり、研修させてもらったりしました。

1つ目は、「サロン」と呼ばれる高齢者が集う場づくりです。2つ目は、高齢者のための地域交通です。3つ目は、お店（売店）です。

まず、「サロン」ですが、高齢者の生きがいづくり、楽しく語りあう場づくり、そして、高齢者のひきこもり防止、安否確認を主な目的として、月2回「縁会所」と呼ばれる施設に200円をもっていけば、ちょっとした食事が取れ、地域の方々と語り合うひと時をもつことができるようになっていました。まちづくりの基本を見たような気がしました。地域の人々がつながり合って生活しようとしている姿を見たからです。視察日には、約50人の方々が参加しておられました。

大宮地域でも、毎週「100歳体操」が、4つの自治会で開催されていますが、体操後のお茶を飲んでの語らいは、一つの「サロン」だと考えます。もっとたくさんの方々が、参加してもらえるよう送迎や飲食のための資金提供など工夫したいものです。

あと2つについては、後日掲載いたします。

なお、写真でもって、雰囲気を感じてもらえると幸いです。



200円の食事会



サロン開店に併せた魚屋さんの出店



サロン開店に併せてのローソン出店



記念撮影



おおみやたたらまつり開催

11月17日、「大宮たたらまつり」、「大宮ウォーキング大会」、「収穫感謝祭」の3つのイベントを開催しました。多くの参加者ではありませんでしたが、「たたら」マニアの方にお越しいただき、たたら操業のミニ版をやっただき、関心をもって見ていただいたり、砂鉄の投入をしていただいたりしました。

大宮といえば「たたら製鉄」。そして、「印賀鋼（いんがはがね）」です。大宮ならではのイベントにしたいと考え、取り組んでみました。この日には、「印賀鋼」というブランド名を付けられた青戸孫左衛門の子孫である青戸家（福市屋）宅を開放していただき、江戸中期の住宅を見ていただきました。天井を見上げれば大きな梁が目飛び込んできます。こうした、たたら関係の遺産を大事にして、大宮の宝として引き継ぎたいものです。

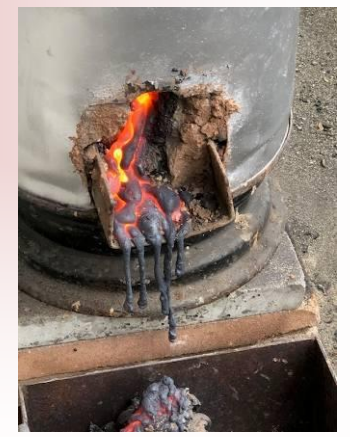
かんな流しで砂鉄採集を行い、その砂鉄でたたら操業を行い、できた印賀鋼で、ペーパーナイフのようなものを作製するイベントをと考えています。



砂鉄投入



たたらミニ解説



不純物の鉄（かなくそ）

ごあいさつ

令和元年も残すところわずかとなってきました。あわただしい年の瀬をお迎えのことと存じます。

さて、大宮まちづくり協議会も大きな行事等を終え、各部の事業も計画通りに行われています。

本年もみなさまのご協力によりまして、まちづくり協議会の事業が予定通り実施できました。大宮地区のみなさま、大宮地区出身者のみなさま、本たよりの愛読者のみなさまに感謝申し上げます。「ふるさとだより おおみや 75号」の紙面をお借りしお礼申し上げます。

来たる令和2年がみなさまにとって明るい1年になりますことをご祈念申し上げます。よいお年をお迎えください。

大宮まちづくり協議会 会長 田辺次良

令和元年度の「大宮まち協」の取り組みは、
「関係人口」と「持続可能」そして、「若者力」がキーワード